2021年度(令和3年度) 第3回 常任幹事会 議事録
日 時 ： 令和3年7月16日（金）10:00～12:00
会 場 ： Cisco Webex によるオンライン会議

参加者（敬称略）
岩月聡史，大堺利行，大城敬人，岡本行広，北隅優希，北山紗織，久保拓也，小池亮，鈴木 雅登，末吉健志，諏訪 雅頼，田中陽，中田靖，向井浩，村松康司，森田成昭，安川智之，山口英一，山本佐知雄，

0. 支部長挨拶
村松支部長より挨拶があった。

1. 前回議事内容確認の件
幹事会資料 No. 1 に基づいて，前回常任幹事会の議事録の確認が末吉庶務幹事よりなされた。

2. 第2回幹事会議事内容確認
幹事会資料 No. 0 に基づいて，午後に開催される第2回幹事会の式次第の確認が末吉庶務幹事よりなされた。

3. 本部理事会報告の件
幹事会資料 No. 2 に基づいて，村松支部長より報告がなされた。今年度の会長は早下先生，筆頭副会長が石濱先生，Anal. Sci.の担当理事は長谷川先生であることが紹介された。また，本部会計について，昨年11月に基金の取り崩しがあったことが報告された。事業収益源としては討論会，年会のオンライン化に伴い減収となったが，同時に経費も全体的に減少したので，最終的な収支は若干の黒字となったことが報告された。中止していた技能試験を復活させてほしいという声を受けて，企業にて実施する計画であることが紹介された。5月に開催された討論会の収支については，経費削減により大幅な黒字であったことが報告された。タスクフォースの進捗については，会員数減に合わせた学会のスリム化について検討されている旨，報告がなされた。ほか，6月9日に総会が開催されたことが報告された。定款の改定や尾崎先生が名誉会員として認められたことなどが併せて報告された。

4. 2021年度各種事業計画の経過報告・確認の件
(1) 常任幹事会・幹事会スケジュール
幹事会資料 No. 7 に基づいて，末吉庶務幹事より近畿支部事業のスケジュールに関する説明

がなされた。

(2) ぶんせき講習会

幹事会資料 No. 8 に基づいて，森田実行委員長より基礎編その1の開催報告がなされた。参加者73名（うち近畿外から21名），オンライン開催は好印象だったとのアンケート結果が紹介された。また，時節を鑑み，基礎編その2，実践編は中止とする旨が報告された。発展編については11/26（金）にWEB開催予定であり，チラシ及び会告の確認がなされた。なお，具体的なオンライン演習の内容について検討中との報告がなされた。

村松支部長より，発展編の協賛の表記に関する指摘がなされた。

(3) 支部講演会WG

幹事会資料 No. 9 に基づいて，向井委員より第1回支部支部講演会の報告と，第2回，第3回のオンライン開催での予告がなされた。会場との意見交換により，基本的に対面開催として予告し，場合によってはオンラインへの変更があるという形での調整を進めるという方針となった。

また，来年度の4月の第1回支部講演会の候補者を現在調整中であることが説明された。4月の講演会は対面を想定しており，直前の幹事会がオンラインの場合は7月に延期する予定であることが説明された。

(4) 提案公募型セミナーWG

幹事会資料 No. 10 に基づき，北山委員より現状応募がないことが説明された。オンライン開催ではWebexが利用可能，オプションとしてSpatial Chatも9月まで利用可能あることが説明された。

(5) ホームページ＆ニュースWG

幹事会資料 No. 11 に基づき，田中委員よりHP更新状況の報告，9月発行予定のぶんきんニュース51号の予告および目次の紹介，来年2月発行予定の記事の募集がなされた。

(6) 若手セミナーWG

幹事会資料 No. 12 に基づき，岡本実行委員長より若手セミナーの準備状況に関する報告がなされた。現時点の参加予定は67名であることが紹介された。

5. 2021年度近畿支部予算経過報告の件

幹事会資料No. 6に基づき，小池会計幹事より令和3年度会計の中間報告がなされた。コロナ禍であった昨年と同等に推移していることが紹介された。

6. 近畿支部役員候補者推薦の件

常任幹事会資料 No. J2 に基づき，末吉庶務幹事より次期委員の推薦について報告がなされた。現状推薦者数が少ないので，積極的な推薦を求める旨が説明された。また，村松支部長より，本部の女性理事率が低いことを受けて，支部の役員でも女性役員の割合を増やしたいという考えが示された。

7. 近分懇奨励賞選考委員選出の件

常任幹事会資料 No. J3 に基づき，末吉庶務幹事より奨励賞選考委員の候補者を募集している旨と，選出プロセスが説明された。

8. 日本分析化学会第70年会の件

幹事会資料 No. 13 に基づき，大堺実行委員長より年会の準備状況について説明がなされた。現状の公演件数は493件であることが紹介された。

9. 近畿分析技術研究懇話会

幹事会資料 No. 14 に基づき，末吉庶務幹事より近畿分析技術研究懇話会にて70年会への企業参加を呼び掛けていることが報告された。また，近畿分析技術研究懇話会の活動紹介と個人会員を募集していることが説明された。

10. その他

(1) 2021年度合同事務局運営委員会報告

幹事会資料 No. 15 に基づき，村松支部長より合同事務局の分担金の変更はないこと，事務局の職員募集はコロナ禍の終息まで見送ることが説明された。

(2) 学会賞等各賞候補者推薦依頼

常任幹事会資料 No. J4 に基づき，末吉庶務幹事より支部内での推薦における推薦理由のフォーマットが決まっておらず，推薦内容が非常にばらついていたこと，推薦方法の改善案を募集していることが説明された。

(3) 共催，協賛など

新規の協賛依頼はないことが，末吉庶務幹事より説明された。

以上